

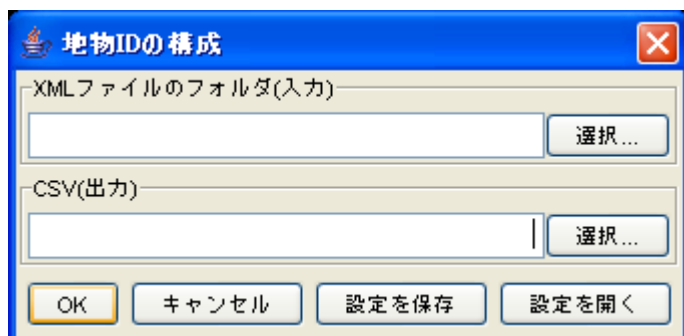
基盤地図情報作成検査ツール バージョン 1.42 更新記録

2010/02/28
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 地物 ID の構成

新メニュー[基盤地図情報]-[地物 ID の構成]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

基盤地図情報原形データベースの XML ファイルの要素「地物 ID」について、記録されている ID の表を作成します。



XML ファイルのフォルダ(入力)

基盤地図情報原形データベース XML ファイルのフォルダを指定します。

CSV(出力)

作成する CSV ファイル名を指定します。

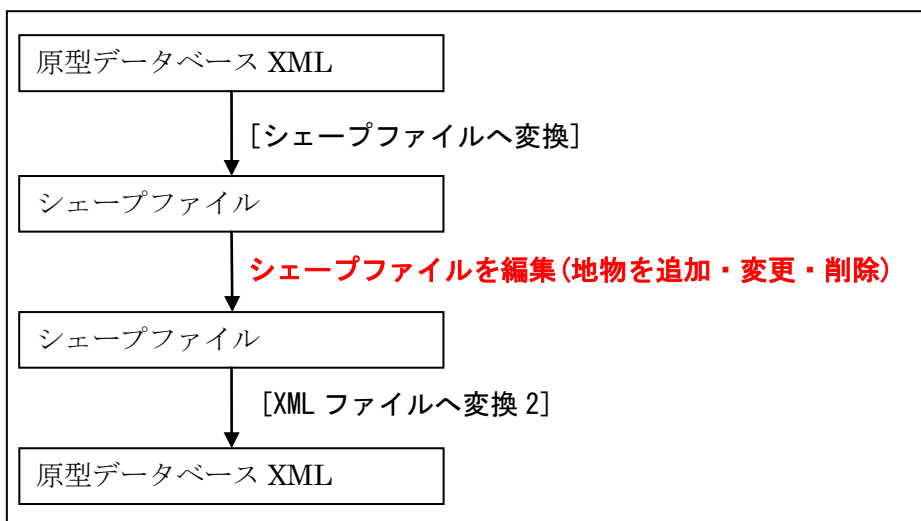
XML ファイルの要素「地物 ID」について、「識別コード」 + 「管理連番」別に記録されている ID の開始番号と終了番号を CSV に出力します。1 列目が「識別コード」 + 「管理連番」の文字列、2 列目が連続する ID の開始 ID、3 列目が最後の ID、4 列目が連続する ID の数です。最後に XML ファイル全体の地物の総数と、ID の最大値を出力します。

	A	B	C	D
1	10-00200-7-123			
2		最初の地物ID	最後の地物ID	地物の数
3		1	3	3
4		5	10	6
5		12	14	3
6		16	16	1
7		18	28	11
8		31	32	2
9		34	34	1
10			地物の数の合計	27
11	10-00200-7-124			
12		最初の地物ID	最後の地物ID	地物の数
13		100	106	7
14			地物の数の合計	7
15	地物の総数	34		
16	地物IDの最大値	106		
17				

2. XML ファイルへ変換 2

新メニュー[基盤地図情報]-[XML ファイルへ変換 2]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

上記メニュー[XML へ変換]は、シェープファイルの編集で地物が削除された場合のみを想定しています。地物が変更あるいは追加された場合は、この「XML へ変換 2」を使ってください。



以下の説明では「XML ファイルへ変換」と異なる部分を説明します。同じ部分は「XML ファイルへ変換」を参照してください。



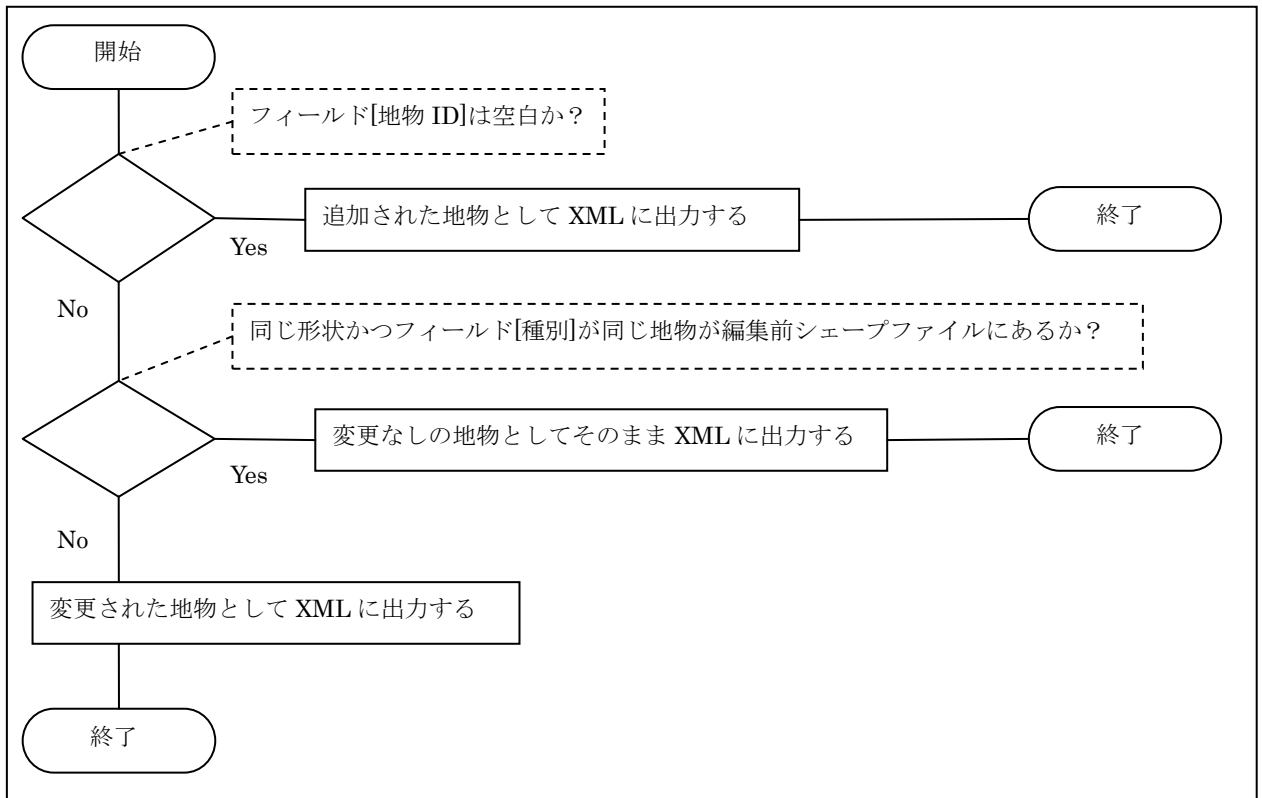
編集前のシェープファイル

メニュー「シェープファイルへ変換」で作成した、編集前のシェープファイルのフォルダを指定します。地物が変更されているか、いないかを判定するため参照します。

最初の地物 ID

追加・変更された地物について設定する地物 ID の最初の番号をしています。メニュー[基盤地図情報]-[地物 ID の構成]で、元の XML ファイルで使われていた地物 ID の最大値を調べ、それより大きい値を指定すれば、元の地物 ID と重ならないようにできます。ID は XML の地物の要素の属性「id」にも記録し、id は uuid と違って「識別コード」+「管理連番」がないため、XML ファイル全体で異なる値を設定する必要があります。作成した XML について、メニュー[基盤地図情報]-[地物 ID の構成]で指定した地物 ID がセットされていることが確認できます。

シェープファイルの各地物について、以下の処理を行います。シェープファイルのフィールド[地物 ID]が空白の場合、追加された地物として処理します。



追加および変更と判定した地物の属性情報は下の表のようにXMLファイルに出力します。下の表にない属性は、シェープファイルのフィールド値をそのままXMLに出力します。

XML の属性	追加	変更
地物 ID	新規 ID。	同左
uuid	ダイアログで指定された「識別コード」+「管理連番」+連番。連番の最初の番号はダイアログで指定。	
編集実施フラグ	シェープのフィールド[編集フラグ]が true(=1)か false(=0)の場合、その値を XML ファイルに出力。それ以外の空白などの場合、false(=0)を出力。	true(=1)
存在期間_自	ダイアログで指定された日付を XML ファイルに出力。	シェープのフィールド[存在期間自]の値を XML に出力。
整備完了日	ダイアログで指定された新規の整備完了日を出力。	同左
出典メタデータ	ダイアログで指定された新規の出典メタデータを出力。	シェープのフィールド[出典メタ]の値を XML に出力。
基盤地図情報メタデータ	ダイアログで指定された新規の基盤地図情報メタデータを出力。	同左

追加あるいは変更された地物については確認リストにリストアップし、上の表での値を表示します。

